

実施日：5月、10月、2月	
領 域：特別活動	
取組名：ペア学級活動	
対 象：全学年	実施場所：運動場、体育館、視聴覚室など
ア ねらい 異学年交流をすることで、子どもたちの仲間意識を高め、子ども一人ひとりの自己有用感を高める。	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施期間 1学期 5月 9日 ～ 5月 27日 2学期 10月 10日 ～ 10月 28日 3学期 2月 6日 ～ 2月 24日</li> <li>・ ペア学年 1年生と6年生      2年生と4年生      3年生と5年生</li> <li>・ 活動方法 1学期は高学年がお手紙を渡す。3学期は低学年からお手紙を渡す。 具体的な活動内容は、高学年が学級会で考える。 高学年は、話し合いや準備の時間として1時間を設ける。 活動は、高学年の児童が主体となって活動し、リーダーとしての意識を高める。 活動後は一人ひとりふり返りを行い、次の活動に生かせるようにする。</li> </ul>	
ウ 連携先：家庭	
エ 連携にむけての取組 学年だよりや学級だより、ホームページなどで知らせる。	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校全体で期間を決めて実施する。</li> <li>・ 児童が主体的に活動できるように、教員は内容や時間の確保の工夫をする。</li> <li>・ 低学年は、高学年を補佐したり、憧れの気持ちをもったりすることで、成長や学習への意欲とともに規範意識を高める。</li> <li>・ 高学年は、リーダーシップを発揮することで自己有用感を得られる。</li> </ul>	
カ 評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動に向かう態度や活動後の様子</li> <li>・ ふり返りカード</li> </ul>	
キ 成果 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ペア学級活動を通して、友だちや下級生から頼られたり、認められたりする喜びを実感でき、自己有用感を高めることができた。</li> <li>・ ペア学級活動を継続的に展開していく中で、子どもたちはさらに多くの友だちと関わりたいという意識をもつようになってきた。</li> </ul>	
ク 課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カリキュラムや時間割によって、活動時間が組みにくいペア学級があった。</li> <li>・ 全教員が共通理解をして取り組む必要がある。</li> <li>・ 休み時間や放課後など、ペア学級活動以外で交流する姿はあまり見られなかった。</li> </ul>	